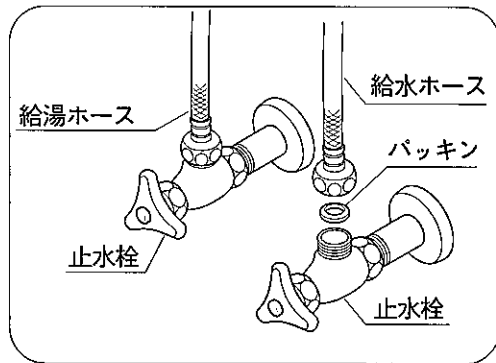
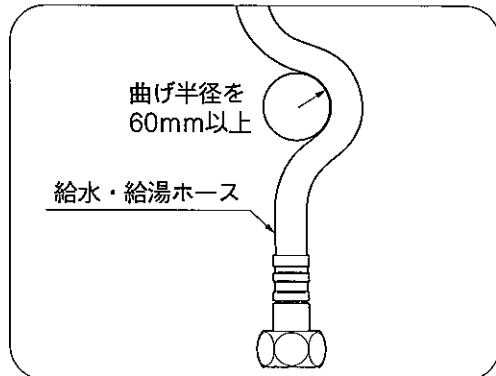


2. 給水・給湯ホースと止水栓の接続

- (1) スリーブナットを止水栓に固定します。
 ※ スリーブナット内にパッキンがあることを確認してください。
 ※ スパナを使ってしっかり締めてください。

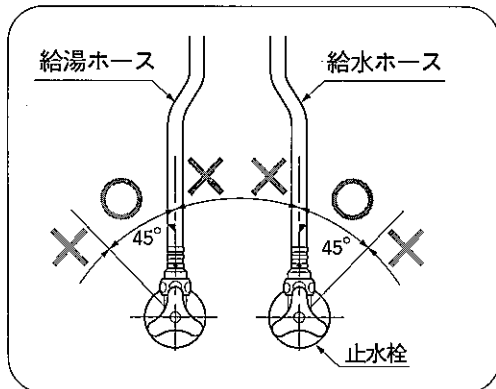


- (2) 給水・給湯ホースを曲げる場合は、曲げ半径を60mm以上確保してください。無理に曲げるとホースが損傷し、漏水の原因となります。



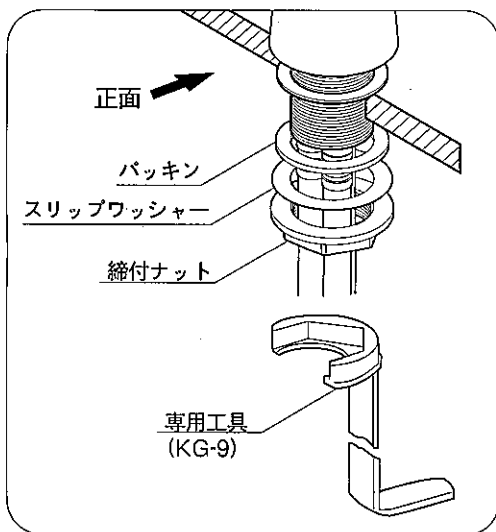
[給水・給湯の取出位置によって止水栓を垂直に取付できない場合]

- ※ 止水栓の向きを図のように外側に約45°以内で傾けて、給水・給湯ホースが無理に曲がらないように調節してください。



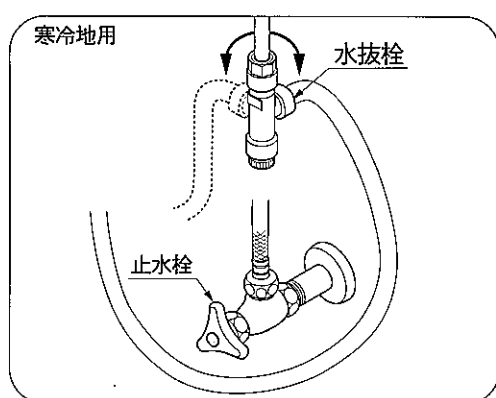
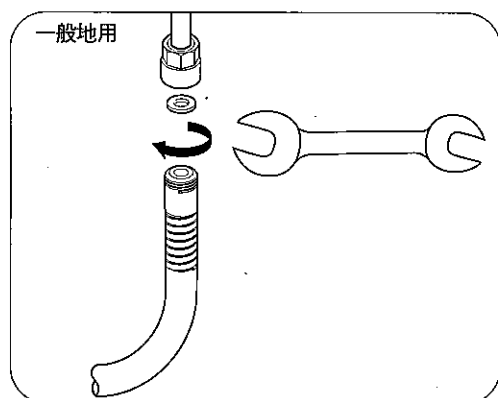
3. 吐水口部の取付け

- (1) 締付ナット、ワッシャーパッキンを取り外し、取付脚を取付穴に挿入します。
 (2) シャワーヘッドが正面を向くように締付ナットで固定します。
 ※ 別売の専用工具(KG-9)を使用してください。



4. シャワーホースと水栓本体の接続

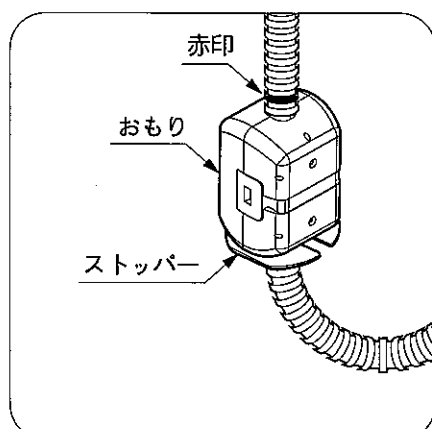
- シャワーホースとホース接続ナットをスパナでしっかり接続します。
 ※ スリーブナットにパッキンがあることを確認してください。
 ※ 絶対にシャワーホースをねじらないでください。



- ※ 寒冷地使用の場合、図のようにホースが湯・水の止水栓を避けるように止水栓の向きを調節してください。

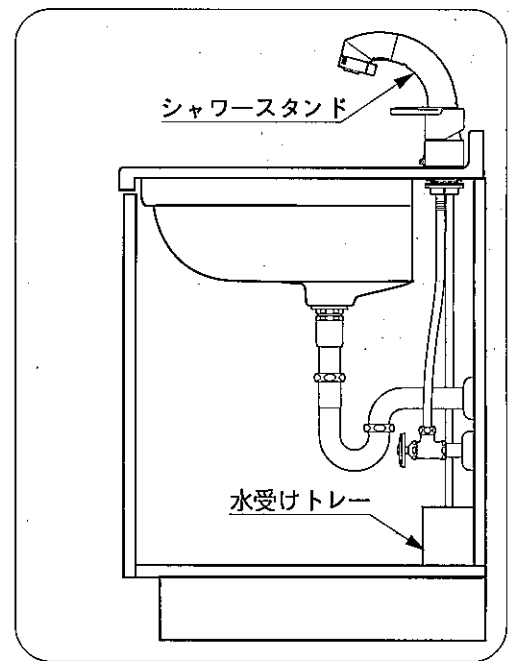
5. おもりの固定

- おもりをホースの赤印の位置に取り付けます。
 ※ ホースをいっぱいまで引き出したとき、止水栓などに引っかかる場合は、ストッパーの位置を調節してください。
 ホース引出し長さは300~500mmを目安としてください。
 ホースを引き出したときのおもりの下側におもりのストッパーを取り付けます。



6. 水受けトレイの設置

- 使用中ホースを伝わって水が浸入することがありますので必ず水受けを設けます。
 ※ シャワースタンドの上げ下げとシャワーヘッドの出し入れを数回繰り返し、シャワーホースの水滴が受けられることを確認してください。



● 施工後の調節

● 流量調節

不用意に全開した場合の水の飛散を防止するため、全開時、8L/分程度(市販の洗面器(容量約3L)一杯にするので30秒弱)になるように湯水の止水栓を調節してください。

● 引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

● 故障と点検

※ 点検箇所は下図を参照してください。

| 現象 | 点検内容 | 点検箇所 | 処置 |
|--------------|--------------------------|------|---|
| 流量が少ない | 圧力は十分か? | | 「使用条件」の項参照 |
| | 配管途中に大きな抵抗はないか? | | 抵抗となる障害物を取り除く |
| | 止水栓は十分開いているか? | | 止水栓を十分開く |
| | 整流ユニット、ストレーナーにゴミ等を水で洗い流す | ①② | ゴミ詰まりはないか? |
| 水が止まらない | ゴミかみはないか? | ③ | ゴミ等を水で洗い流す |
| | キズはないか? | ③ | キズがあれば部品を交換する |
| | ゆるみはないか? | ④ | 固定ナットを締める。締めすぎるとレバーハンドルが重くなる場合がありますので注意してください |
| 希望の温度が得られない | 圧力は十分か? | | 「使用条件」の項参照。 |
| | 流量調節はよいか? | | 「流量調節」の項参照。 |
| | 整流ユニット、ストレーナーにゴミ詰まりはないか? | ①② | ゴミ等を水で洗い流す。 |
| レバーハンドルがガタつく | ゆるみはないか? | ⑤ | ねじをしっかりと締める。 |

